

平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

「学校・家庭・地域が連携して子どもの生きる力を育む」

取組事業名

- ・教育振興運動推進事業
- ・放課後子ども教室推進事業

岩手県紫波町

学校名

日詰小学校 赤石小学校 古館小学校
紫波第一中学校

※該当する内容に○

活動内容	学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
	放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	学童クラブとの連携	その他
	学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
	家庭教育支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
	地域課題に応じた額習	高齢者支援	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他

取組概要

【教育振興運動推進事業】

- ◆家庭教育支援推進事業 対象：小学校1年生～6年生、保護者

町内10地区の教育振興運動実践協議会が家庭教育力の向上を図るため、親子講演会や学習サポート、世代間交流などの事業の企画実施に対し支援する。

活動事例 ○復興教育講演会 ○夏・冬の長期休業中に学習サポート 等

- ◆広報紙発行 対象：町内全戸

町内における教育振興運動の活動状況広報紙「紫波の教振」を発行し、町内全戸に配布し、教育振興運動の周知を図る。

活動事例 ○県共通課題（メディアとの上手な付き合い方等）の啓蒙 ○各地域における教育振興運動の活動状況の周知

- ◆融合セミナー 対象：紫波第一中学校1年生

地域で活躍する方を講師に、中学生が講座体験を通して地域住民と交流する取組を開催する。実施にあたっては、一部の業務を子どもの環境づくりに積極的に関わり人材育成のノウハウを持っている特定非営利活動法人に再委託し、効果的かつ効率的な事業運営を図る。

活動事例 ○郷土食講座 ○そば打ち体験 ○陶芸講座 ○スポーツ吹矢 等

【放課後子ども教室推進事業】 対象：小学校1年生～6年生

放課後や週末において、子どもにとって安心で安全な居場所を確保するとともに、多様な文化活動や体験活動を支援するため、放課後子ども教室を開設する。古館、日詰の2教室は、一部の業務を子どもの環境づくりに積極的に関わり人材育成のノウハウを持っている特定非営利活動法人に再委託し、効果的かつ効率的な事業運営を図る。

- ◆赤石こどもクラブ（毎月：2～3回 木、土曜日） 開設場所：赤石小学校 等

- ◆古館子ども教室（毎月：2～3回 土、日曜日） 開設場所：古館小学校、古館公民館 等

- ◆日詰子ども教室（毎月：4～5回 木、土、日曜日） 開設場所：中央公民館 等

活動事例 ○まめっこ農園 ○フェルトでちくちく ○映画会

平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

事業成果

【教育振興運動推進事業】

- ◆家庭教育支援推進事業 10 地区 14 回 1,112 名参加
- ◆広報紙発行 全戸 約 11,600 戸に配布

年 5 回の発行により教育振興運動の活動について時期を逃さずきめ細かに周知することができた。

- 平成 27 年 4 月号 平成 28 年度教育振興運動の推進計画の周知
- 平成 27 年 6 月号 情報メディアとの上手な付き合い方について啓蒙
- 平成 27 年 8 月号 情報メディアとの上手な付き合い方について啓蒙（その 2）
- 平成 27 年 12 月号 各地区教育振興運動実践協議会の実践交流会の紹介
- 平成 28 年 2 月号 各地区教育振興運動実践協議会の活動内容の紹介



- ◆融合セミナー 地域社会との連携による取組 216 名参加

生徒たちが、地元で活躍する大人と交流することで、地域活動を知り地域とつながるきっかけづくりになった。また、子どもを思う地域の人たちのネットワークが広がり、子どもたちを育む地域教育力が、向上してきている。

NO	講座	会場	人数	内容
1	スポーツチャンバラ	小体育館	29	体操
2	尺八	第 2 音楽室	10	尺八・琴の演奏
3	郷土食	赤石公民館	19	ひつまみなど地元料理を作り試食をする
4	歴史・山野草	五郎沼・城山	14	城山と五郎沼の歴史を聞きながら散策
5	お茶会	多目 1	16	挨拶の仕方、お菓子とお茶のいただき方
6	ハーブ	調理室	13	ハーブの香り袋サシェ作り、ピザ作り
7	着付け	1 年生教室	6	ゆかたの着付け
8	トルペイント	美術 1	19	ルームライト作り
9	陶芸	我夢路工房	12	コーヒーカップやお皿など作品作り
10	IT	パソコン室	8	3D プリンターを使ってネームタグを作ろう
11	そば打ち	勤労青少年ホーム	24	そば打ち体験と試食
12	きりせんしょ・がんづき	中央公民館	17	郷土料理のきりせんしょ・がんづきを作り試食
13	スポーツ吹矢	体育館	29	吹矢呼吸法で集中力を高めるスポーツ

【放課後子ども教室推進事業】

放課後や週末において、子どもにとって安心で安全な居場所を確保するとともに、多様な文化活動や体験活動を支援することができた。事業実施にあたり、一部の業務を「特定非営利活動法人ゆう・もあ・ねっと」に委託し、月 1 度の打合せをしながら、進捗状況を確認した。

- ◆赤石子どもクラブ 27 回 425 人（小学生・一般）
- ◆古館子ども教室 31 回 843 人（小学生・一般）
- ◆日詰子ども教室 43 回 716 人（小学生・一般）

安全管理員の日誌より

- 勉強できる場も必要という声を聴き、そのような場所も考えて行かなければならないと感じた。（赤石子どもクラブ）
- 地域の特色を活かしての活動なので、来年も継続して行っていきたい。（古館子ども教室）
- ボランティア同士の交流にもなった。子どもにとっても大人にとってもいい機会となった。（古館子ども教室）
- 震災を知らない子がほとんどということに気づかされた。震災を忘れないというより、震災を知るという活動になった。（日詰子ども教室）



課題と今後の取組

○放課後子ども教室については、単なる居場所づくりにとどまらず、学習の場や様々な体験活動の場として開設することができた。しかしながら、講師やコーディネーターが実施したい活動、子どもが参加したい活動がそれぞれ一致しない場合があった。参加人数の減少や場所の調整の難しさにつながるため、今後は、講師やコーディネーターが事業の目的や課題を共有し、より教育効果を高める活動を検討していく必要がある。